

盛岡二栄冠 団体試合

なぎなた

(盛岡市・盛岡体育館)
 ◇試合▽団体リーグ戦 ①盛岡二②勝②一戸①勝①
 敗③差石岡工②敗
 (盛岡一は6大会連続19度目の優勝)
 ▽男子個人決勝リーグ ①女々沢綜磨(二戸)2勝
 ②山教平(二戸)1勝1敗③柴田昇翔(二戸)2敗
 ▽女子個人決勝リーグ ①鈴木茉莉(二戸)2勝②
 西川紗生(盛岡二)1勝1敗③柴田朱理(二戸)2敗
 ◇演技▽決勝リーグ ①土藤唯香・鈴木茉莉(二戸)
 4勝②柴田優月・柴田朱理(二戸)3勝1敗③照井美
 咲・丸山すえ(盛岡二)2勝2敗

団体試合は盛岡二が県新人大
 会で敗れた一戸との接戦を制
 し、6大会連続の優勝を果たし
 た。直接対決は、先鋒から大将
 まで5人が引き分け。代表戦も
 延長までもつれた大接戦をも
 にした。
 リーグ戦は一戸と1勝で並
 び、最終の直接対決で優勝を争
 った。次鋒の西川紗生主将(3
 年)はメンを決めて勢いづくが、
 一戸の柴田優月(同)にメンを
 奪い返される。中堅、副将と一

代表戦 西川主将が力発揮

進一退の戦いで引き分け。大将
 戦は水本陽菜(同)が、県新入
 大会個人試合を制した一戸の鈴
 木茉莉(同)との対決。水本は
 鋭い打突で猛攻を仕掛けたが、
 鈴木木の切れのある払いに阻ま
 れ、ここでも決着がつかなかっ
 た。
 代表戦では、西川主将が奮起
 した。一戸の柴田朱理(同)を
 相手にとにかく攻めて決める
 と冷静かつ果敢に有効打を狙
 い、延長の末、判定勝ちを決め
 た。
 選手たちは県新人大会で涙を
 のんでから走り込みや足腰の強
 化に励み、課題だった体力面を
 強化。悔しさを糧に練習を重ね
 て養われた粘り強さが、この一
 番で発揮された。
 メンバー全員が高校でなぎな
 たを始め、高めあってきた。こ
 の勝利はみんなの絆があつてこ
 そ。水本の言葉に全員がうな
 ずき、全員でつかんだ優勝の喜
 びをかみしめた。

(斉藤元)



団体試合 6大会連続での優勝を成し遂げた盛岡二



団体試合 盛岡二一戸 次鋒西川紗生主将(右)が攻め込む盛岡市・盛岡体育館

(岩手日報)

この記事は岩手日報社の許諾を得て転載しています。